

2021.07 長江まゆみ（鶴舞図書館点字文庫ボランティア）

◎「表記法」＝点字表記のルールブック。幅のある表記を許容している部分がある。

「てびき」＝点訳の立場で規則を再構築し、「表記法」に幅がある場合は、必要に応じて選択している。

点訳者が墨字原本を点訳する時の全国的統一を図るもの。

※以下の語例のうち〔 〕で囲んだものは、実際の点訳の際に質問を受けたり、校正で指摘したりした語例

※【表記法】とある部分は、「てびき」の規則は以前と変更ない場合もあるが、表記法の規則と異なるので注意が必要なところ（場合によっては「表記法」の書き方もできる）

※ページ数をカッコで囲んだ部分は「てびき3版」での記載位置から移動のあったところ

（「指導者ハンドブック」「点訳問題集1・2」とは出題順が異なるので指導の際は要注意）

編集方針

- ・ 「原則とする」には例外がある → 原則を覚えてうえで例外をそれぞれ場合分けして身につける
- ・ 「…てよい」「…できる」は“お勧め”ではなく一般的意味
- ・ 規則を理解するうえでのヒントや注意点は、コラム・参考で説明・補足が加えられている

第1章

点訳者としての基本なので何度も読み返すことが大事

P4 点字の利用形態の多様化 冊子・ペンディス・音声、盲ろう者

P5 点字サイン 晴眼者が最初に点字に興味を持つきっかけにもなる

P6 点訳者に求められる役割 ニーズに応えられる技能、点字普及、ネットワーク、養成講座

P11 点訳・校正の位置づけ 点訳者に求められる技能、校正に必要な視点、調査の重要性

第2章

P20 「き」「く」「つ」の促音化の「参考」 劇作家 活火山 〔冊数 日中韓 日中間〕

P22 現代仮名遣いの許容は取らず本則に従う イナズマ 〔蹟く〕

P25 児童書などになじみの薄い外来語の表記が用いられている場合 メルヒエン フォードル

P27 促音二つ以上の連続 あっっっ うっっっ

P35 「数」「何」「幾」を含む数の書き表し方

二百数十 千百数十 千二百数枚 五十幾人 五百何個

「点訳のてびき第3版 Q&A 第2集」Q12の解答は変更

- P43 アルファベットの文字列の中の大文字と小文字
AMeDAS VIPs IPsec UDCast MHz NOx [MoMA]
- P46 外国語引用符を使う場合
【表記法】 p30 パソコンの使用法などの本に限り SHIFT キーなどに外文字を認める

第3章

- P53 アルファベットで書かれた外国語に「な」「だ」などが続く場合
【表記法】 p30 coolーな表情
[DJらしい語り口]
- P54 「ものの」「ものを」は前を区切って書くことをはっきり<処理>に示す
[遊びは/する/ものの]
- P58 「ない」を「い」の省略ととるのか補助形容詞とするのか
【表記法】 p38 誰も住んでない家 まだ食べてないみたいね
- P59 「なくなる」を独立項目に 形容詞などの「…く」に「なる」が続く場合
- P67 複合名詞の用例の中に、3版てびきで接辞としていたものも加え、名詞と同じ扱いに
インター/ネット 手あたり/次第 腕次第
- P69 漢字2字2拍漢語の切れ続き
【表記法】 p44 車椅子 心意気 柚子味噌 胡麻油 義理チョコ
[味噌カツどん]
- P70 複合名詞は、語の成り立ちを考慮し、区切ると意味の理解を損なうものは続ける
自転車道 自動車内 [植民地下]
- P71 外来語の自立性の判断 (外来語同士・外来語と和語・外来語と漢語)
ツナサンド ハイ/スクール バウム/クーヘン アウト/バーン お掃除/ロボ
パラ/陸上 フレンドシップ ビジネスライク バレンタインデー テレスコープ
コンクリート壁 ドア/ツー/ドア UV/ケア
[マインドフルネス バイオロジカル Bビザ e/チケット]
- P75 数字を含む複合語
10会場 7/専門/分科会 504/会議室 二百三/高地
- (P78) 「して」が助詞の場合の書き方を、「自立語と付属語」から「複合動詞」の「する」の後に移動
[負けるべくしての惨敗]
- P84 動植物名・理化学用語で、一続き・つなぎ符を用いて書くのは専門書に限ることを明記
- P85 漢字や仮名で書かれた単位 (2009年変更) 5/香港/ドル

[10/スイス/フラン メートル/燭光=ルクス]

P87 2拍以下の名字か名前

【表記法】 p54 司馬遷 白樂天

P92 地名の段階の内部に「東・西・南・北・中」などがつく場合 [小倉/北区]

P94 地名・自然名の普通名詞部分が外来語の場合 ソルト/レイク/シティ トーキョー/ベイ

第4章

(P100) 数字の代わりに用いられた「？」の書き方を、疑問符・感嘆符の項に移動

← 3版「特別な配慮を必要とする記号類」

P101 およその数ではないが、数字列が並んでいるときの読点・中点

【表記法】 p64 5、6年生の児童 問A・B [走者1、2塁]

P103 言い換えの中点 地元・札幌 執筆者・鈴木一雄氏

[セ・リーグ セ・パ両リーグ マルクス・レーニン主義 女優・弓子]

(P103) 中点を適切な記号やマスあけに代える書き方を、中点の項に移動

← 3版「特別な配慮を必要とする記号類」

P104 簡条書きの行頭の黒丸を中点にしないことを明記

P105 一つの文の中に、カギ類で囲んだ語句や文が並列する場合

彼は、「あなたはどこからきたの」「ね、教えて！遠い国から？」「そしてこれからどこへいくの」とやっぎばやに問いかけられた。

P106 第1カギに囲まれた中であつても第1カギを用いることができる場合

横浜には「港の（格助詞「の」）見える丘公園」がある。

P107 カッコ開きの前をあげる場合 アサヒビール（株）本社

P110 囲みの符号をそのまま記すときの書き方 山のあなたの空遠く（傍点は筆者）

P111 点訳者挿入符→点訳挿入符

P113 点線前後のマスあけ

【表記法】 p75 …的考え

P114 点線の前後に促音が続く場合の書き方 「申し訳ありません……っ！」 「っ……」

P115 範囲の始まり、または終わりが無い場合の波線

【表記法】 p74 自由討論（～17時） 10時～受付

P116 伏せ字の後に数字やアルファベットが続く場合 ××kg JOF□3 ××%

(P116) 伏せ字以外の○印・×印の書き方を、伏せ字の項に移動

← 3版「特別な配慮を必要とする記号類」

P118 ハッシュタグ（後ろの自立した意味のまとまりとは区切る）、アットマーク（前後区切る）

「#1000kmリレー」で検索 大谷@日本ハム [#MeToo]

(P122) 墨字のハイフンやコロンの書き方を、小見出し符類のコラムに移動

← 3版「特別な配慮を必要とする記号類」

P124 注の書き方

注記の該当語句を再掲しない書き方。該当語句も添える書き方は p190

[本文と注を分けるのに 32 マスの②⑤の線を引いてよいか?——欄外注の場合のみ。ページの途中でまた本文にもどるのであれば枠線で囲むとか、5マス目から 12 マスの仕切り線を引くなどする (p190 参照)。改ページ項目の前に入れるときは「注」を見出しにたてて目次に明記するなどする]

P127 アルファベットの間にあるスラッシュ

S/N 比 新型インフルエンザ A/H1N1 M/S とも同じ値段です

P128 数字と数字の間のスラッシュ

【表記法】 p65 血圧は 125 / 85

(P128) 数字の間や仮名の間のスラッシュの書き方を、スラッシュの項に移動

[in/out の標識に従う]

P128 2020 年、空欄記号の項に修正あり

(1) に「クイズなどで」を追記、(4)「参考」の文面を変更、(4)「処理」削除

P131 記号間の優先順位第 1 順位の確認 小見出し符類・詩行符類

【表記法】 p85 (注意) 文末の句点・疑問符・感嘆符の後ろに棒線、矢印類、カッコ類または点訳挿入符の開き符号が来るときは、文脈により一マスあけも可

P132 アルファベットなどにつけるピリオドの後ろに囲みの符号が続く場合

Dr. (博士) の称号を持つ人

P134 囲みの符号が誤読されないための処理

【表記法】 p85 二重カギの内側に第 1 カギが接する場合

P136 日本語一般書中の英文の書き表し方に一部 UEB を取り入れる(2016 年変更)

数符・大文字の効力、文字の使い方、小数点の点字パターン、イタリック符の使用制限

P141 「ホームページや E メールアドレス」用語の変更

P142 数学記号 一般書の文章中に数式を書き表す場合は前後 1 マスあける

日本語の語句を囲む第 1 カッコから始まる数式の初めにも数式指示符を用いる

台形の面積 = (上底 + 下底) × 高さ ÷ 2

「数学・情報処理点字表記解説」(2020 年、日本点字委員会)

P143 単位記号 第 1 カッコから始まる単位の書き方

M (メガ) や G (ギガ) の付く単位の書き方の確認 [MB]

第5章

(P148) 段落の省略に用いられる「▼」や「／」などの書き方を、行替えの項に移動

← 3版「特別な配慮を必要とする記号類」

P148 数字付き文中注記符の前での行移し可

一部の助動詞では行移しが認められるが、「だ」1字や助詞の行移しはしない

【表記法】 p104 助詞の前で行移しができるが（「ワ」「ヲ」は除く）、1マスの助詞一つだけが
行頭に来るのは避ける

[積極的だったからかも知れない]

P152 箇条書き、副見出しの書き方の確認

P153 表中・行頭・行末を除き、1行中のマスあけは最大2マスであることの確認

P154 見出しの大きさが1種類の場合は、見出しを7マス目から書き始めることが原則

P156 見出しの段階が多い時の書き方コラム

P164 歌詞に番号がつく場合の書き方

P174 案内文の「記」の書き出し位置

P181 表は枠線で囲み、題は枠線の中に。表の説明と表本体は1行あけて書く

P187 いろいろな枠線・区切り線

区切り線は1行空けより大きな区切り

行頭から行末までの②⑤の線は1ページを上下に分ける線で、ページが変われば本文にもどる

開きの枠線上に「ズ」「コラム」などの語を入れるときの位置

P189 仕切り線 1行空けより小さな区切り

P194 絵文字・顔文字の書き方

(P195) 数の略記 ← 3版「中点のコラム」 [10:40]

P198 副書名の標題紙と奥付における書き方

[表紙] ——/副書名。/—— [奥付] 書名。//——/副書名//（叢書名） p204

※ 見出しと副見出しを結ぶ場合も、見出しに句点・疑問符・感嘆符がある場合は2マスあけ
(3版 p204(4)や「Q&A2」 Q143 の答えから変更)

[…現実に飲み込まれたのか?//——社会党 vs 自民党の核心]

P200 目次における見出しと頁の数符をつなぐ点

P207 点訳書凡例の書き方

※ 「初めての点訳第3版指導者用マニュアル」(全視情協、2021年2月発行)

「初めての点訳第3版」を用いて点訳指導をする際の参考となる事柄をまとめたもの＝「点訳のてび

き第4版」で学ぶべき点訳の基本的かつ最重要事項について、より理解が深まる解説、練習問題